

ふちらいふ

らいふ通信

lifsea
株式会社リフシア
ホームページ
http://lifsea.co.jp
ふちらいふ編集室ブログ
http://lifsea.jugem.jp
らいふ日記(スタッフブログ)
green.ap.teacup.com/lifekaigo
2011冬 Vol.22

今年4月、茅ヶ崎市香川にリフシアの新しい事務所「らいふ香川」グループホーム(2ユニット)と小規模多機能型居宅介護(定員25名)をオープンさせます。おりしも、社会保障審議会では介護保険制度見直しとして、地域全体で介護を支える体制(地域包括ケア(日常生活圏域における医療・介護・予防・住まい・生活支援サービス)を切れ目なく提供される体制作り)が課題に上がっています。



らいふ香川牧野所長

牧野 まず、私の思う茅ヶ崎は、地域の皆様が地元を愛し、大切に、誇りをもって生活されていると感じております。だからこそ、住み慣れた地域の中で自分らしく安心して生活を送れる事が大切だと思います。地域密着型のサービスを展開する私達も、生活される皆様と同じように、茅ヶ崎を愛し大切に、地域にしっかりと根を降ろし、お一人お一人の思いを受け止め、支えられる様なサービスを提供してゆきたいと思っております。



順調に工事の進むらいふ香川

編 具体的にはどのような施設にしたいと考えていますか。
牧野 「らいふ香川」はJR相模線香川駅から徒歩1分と交通の便も良く、



らいふ香川内覧会のお知らせ
3月18(金)19(土)20(日)
午前10:00~午後16:00
●お問い合わせらいふ香川(3月1日以降より)
☎0467-55-2110
〒253-0082 神奈川県茅ヶ崎市香川3-29-7
●お問い合わせ連絡場所
株式会社リフシア内らいふ香川開設準備室
☎0467-55-5102



新設 らいふ香川
新年明けましておめでとうございませう
本年もよろしくお願ひします

株式会社リフシア社員一同



光

神明
この日のために特別に大きな釜をご用意！薪をくべ、懐かしい煙の香りが目まぐるしく...
芋煮会ならぬ「豚汁会」の開催です。朝から包丁を持ちお料理です！上手いくかしら～
→1年間お待たせしました！辻堂海浜公園のイルミネーション♪点灯式へ行きました。ジャズ演奏の中大人の時間を過ごしました。

萩園
もういくつ寝るとお正月～書初めの練習を行いました。皆さん真剣な表情で久しぶりの墨の香りに包まれ、おそろのおそろの筆を持ち...何書こうかとしばし悩まされていました。

柳島
オープン1周年を記念して地域の皆様へらいふ柳島を開放し、小球根バスケット作りを行いました。
ボランティアの皆様による三味線、踊り、尺八、民謡を楽しみました。

柳島
小球根バスケットは皆様にお土産に持って帰って頂きました。
次号は4月15日発行予定です。皆さんの投稿お待ちしています。(み)

らいふ歳時記 event
萩園自治会で開催された第3回萩園文化祭に参加しました。

松林
職業体験に地域の中学生が連日来て、皆さんと交流しました。地域の皆さんの温かい見守りに感謝します！

歌のボランティアさんのお二人です。毎月素晴らしい歌声と楽しい会話で皆さん大満足です。
遊行寺へお出かけしたら、近隣の中学生が野点をしていて抹茶を振舞ってくれました。一服のお茶が有り難いと感じる瞬間でした。

編後記
新年明けましておめでとうございませう。旧年中は沢山の皆さんの協力をいただき、ふちらいふ編集部も充実した一年を送ることができました。本年もよろしくお願ひいたします。
今年の手作りカレンダーが少し残っています。ご希望のかたは編集部にお問い合わせください。
↑2011年リフシアオリジナルカレンダー

lifsea 株式会社リフシア
らいふ萩園 デイサービス(認知症対応型・一般型) TEL 0467-89-5277
らいふ萩園 居宅介護支援センター TEL 0467-89-5277
らいふ松林 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-54-8591
らいふ神明 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL 0466-21-7893
らいふ柳島 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-84-1220
らいふ香川 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL 0467-55-2110

らいふ通信「ふちらいふ」冬号Vol.22
2011年1月1日(季刊発行)
編集/ふちらいふ編集室
〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1
TEL0467-55-5102 FAX0467-55-5103
発行/株式会社リフシア

【特集記事】

自宅で家族を看取った藤田かおりさんに聞く



最期まで自分らしく生きる

末期癌のお母さんを昨年6月看取った藤田さんは、病院でなく自宅療養を選び、休職して最後までお母さんと過ごしました。

宣告はある日突然に：「昨年3月（平成22年）母が調子をくずし、めずらしく仕事を休んで藤沢市立病院に出かけた時、いつも通り送り出しました。だからその数時間後、『子宮癌だって、治療の施しようがないらしい、あと3か月だって』と母から言われた時、私たちに心の準備はなく、ある日突然のことでした。父母と私の親子3人暮らしだから、私が仕事を休んで自宅で看よう、最期は畳の上でと強く思いました。」

可愛がっていたペットとふれあうこともできました



遠く北海道でお世話になった人たちが、会いに来てくれました

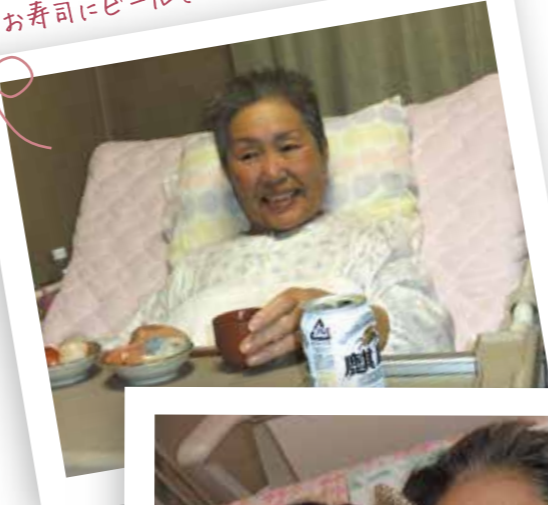


そう語ってくれた藤田かおりさんは、介護福祉士の資格をもち在宅歯科治療に携わる歯科衛生士です。末期癌のお母さんを昨年6月自宅で看取りました。

わたしもケアマネジャーとして

藤田初恵さんの闘病に立ち合い、往診医や訪問看護、訪問入浴など在宅に帰る準備に関わりましたが、すべてはかおりさんにかかっていた。在宅で看取るということについて、家族の立場からお話を伺いました。（編）

退院の夜は、大好きなお寿司にビールでお祝いしました



また、母が生きている間にお墓やお葬式ができました。たくさんは食べられなかったけれど、食べたいときに好きなものを食べさせてあげる事もできました。

仲よしだったかおりさんと最期の2ショットになりました



市内の高砂緑地内の坂を登ると、美術館の入り口近くに、八木重吉の詩碑が五年前に建てられた。碑文には次の詩が彫ってある。

蟲が鳴いている
いま ないておかなければ
もう駄目だというふうに
鳴いている
しぜんと
涙をさそはれる

湘南つれづれ 7 蟲のうた

彼は元南湖院の結核患者で、クリスマスチャン詩人でもあった。近年、彼の短く、澄んだ言葉で表現される詩の数々が色々な場面で紹介され、共感をよんでいる。

この詩には、季節をめぐらす自然への深い畏敬の念が、単純な言葉にももっている。秋という季節をこんなにも美しくうたい上げた詩人がいたのだろうか。

素朴な琴
この明るさなかへ
ひとつの素朴な琴をおけば
秋の美しさに耐えかね
琴はずかに鳴りいだすだろう



茅ヶ崎美術館の入り口にある八木重吉の詩碑

第4回らいふ介護セミナー（公開）

生活の場で支えるターミナルケア
「その人らしい最期とは」



講師：鳥海 房枝（ちようかい ふさえ）氏
特別養護老人ホーム清水坂あじさい荘
総合ケア・アドバイザー、保健師、看護師

- 日時：平成23年3月12日（土）18：30～20：00
- 場所：茅ヶ崎市市民文化会館 4階大会議室 **入場無料**
- 定員82名（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 申込先：株式会社リフシア事業企画部 ☎0467-55-5102
ホームページ <http://lifsea.co.jp>

平成18年以降、介護保険にターミナルケア加算が創設され、家族や介護に携わる人たちに『どこで看取るのか』は身近な問題となっています。これまでターミナルケアの意義について積極的に話し合ってきたでしょうか。今年の公開セミナーでは豊富な経験と知識を持った鳥海先生をお招きして一緒に考えたいと思います。定員82名までの会場のため、先着順にて受け付けいたします。



（編）

亡くなるときもきれいでいたいからと、髪の毛を染め直し、合わなくなった入れ歯の調整をして、ひとつひとつ本人の望みをかなえてあげる事が出来ました。主治医の木原明子先生（湘南ホスピタル）や訪問看護ステーションオリブの皆さんに助けていただき、指導を受けながらモルヒネの点滴が始り、いよいよ母の死が近い事を覚悟すると同時に、母の痛みや不安をとり除くため24時間つきっきりで介護しても、癌はどんどん進行し、うまく痛みを抑えてあげられず『自宅では何もしてあげられないのだから、私の自己満足なんじゃないか』と自問自答した辛い時もありました。でも、今は自宅で看取って大満足です。やるだけやったし、母も頑張って生きたからです。病院にいたら、きっとこんな気持ちになれなかったと思います。

6月12日永眠する直前、母は意識がもうろうとする中、「みんなに助けてもらってありがとう」と感謝の言葉を伝えていました。本当に私たちは大勢の人に支えられています。感謝でいっぱいです。

知らせを聞いてお別れに伺いましたが、きれいにお化粧した初恵さんのそばでご家族や親戚がお食事を作り、日常生活を営んでいる光景をどこか懐かしく思いました。かおりさんは以前にも増して仕事に打ち込み、お父様を大切にされています。藤田さん家族の深い絆に感動しました。取材ご協力ありがとうございました。



退院した4月28日は初恵さん62歳のお誕生日、ケアマネを担当した三島と一緒に写真を撮ってもらいました